## 京都の特性や強みを活かした産業のあり方に関する研究(1)

# 京都の"強み"についての仮説の検証

応用技術課 古郷 彰治

# 1 はじめに/研究の背景

## 京都のものづくりは今後、何でアドバンテージを取るのか

それは"スピード"ではない? "価格"でもない? 京都でしかできない、京都だからこそできる独自の強みを捉え、それを活かした今後の産業のあり方を探ってゆく。

#### そもそも"京都の強み"とは何なのか

これまで漠然と、観念的に、あるいは面白おかしく語られてきた"京都らしさ"とは?"京都の強み"とは? それをあらためて捉えて整理し、意識して共有することで、各分野のものづくり産業において"京都の強み"を活かした展開を図り、さらにそれを高め伝えていく契機としたい。

# 2 研究方法

### 1)中から見た"京都の強み"とは

京都のものづくり企業の経営者やデザイナー、研究者、行政職員らが参加する「京都のアドバンテージを考える会」「新工芸研究会」等の研究活動を通して"京都の強み"について考えた。

## 2)外から見た"京都の強み"とは

雑誌の京都特集を対象に、その特集が京都の何をテーマとして訴求しているかを研究した「"京都"の受け止め方の調査」を参照した。

## 3)既存の研究や文献、著述等による裏付け

「府内の特産品や観光資源等をブランド化するためのコンセプト開発」「Managing Brand Equity」「老舗と家訓」「長寿企業の実態調査」「都市別老舗出現率」「京都市基本構想」「京都の文化は日本の文化」「京都人の密かな愉しみ」等を参照して検証した。

## 3 結果及び考察

## 1)中から見た京都

### ~京都で活動する人々が考える"京都の強み"とは~

- ①仕事や町の規模とネットワーク
- ②進化と継続
- ③過去から未来への永続的な活動
- ④"京都"という無形の資産の形成、継承、発展
- ⑤規模や効率だけではない仕事

## 2)外から見た京都

#### ~京都以外の人々が考える"京都の強み"とは~

①京都の<mark>奥深さ</mark>を感じ、他の都市とは違う<mark>京都ならでは</mark>という 価値の存在を認めている ②京都の"奥深さ"の中に時間によって育まれるものの存在を 感じ取り、そこに価値を認めている

## 3)既存の研究や文献、著述等による裏付け

- ①近代化に取り組みつつ、別な生き方も様々な形で維持してきたという<br/>
  重層的な都市文化を持つ
- ②現代社会の価値観とは異なった、ものの感じ方や考え方が 今も町の懐に息づいている
- ③長年にわたる努力の積み重ねで<mark>京都全体に対する大きな</mark> 信用を築き、それが認められてきた
- ④老舗に伝わる家訓に共通するのは、信用の出来る町人、信用 するに足る町人になれということ
- ⑤京都の町は、そこで生きる人間に"美しく生きよ"という無言 の呪縛をかけている

## 4まとめ

京都の強みの源泉は、"そこに暮らす人々"である。そしてその人々がみんなで築き、守り、伝え、高めてきた、"京都全体に対する信用"という無形の資産である。それは、京都に対する安心感とも云える。京都の人々は、相手との信頼関係を優先して、"高潔に生きなければならない" "行儀良く暮らさなければいけない"という禁欲的なまでの自主規制意識と精神性を持ち続けてきた。

京都の人々が"信用"を築き、守り、伝え、高めることの価値を認めて共有し、それを文化として何代にもわたって継承して来られたのは、京都が現在に至るまで都市でありながら「村」でもあり続けているからであると考える。つまり西洋文明が入ってくる以前の江戸時代までの仕組みをも引き継いで、重層的な都市文化をもって運営できている、現在の日本においては唯一とも云える都市であるからである。

しかしその"精神"と"仕組み"が近年、いろいろな場面で崩れかけている。あらためて意識してこれを守り、伝え、高めていくための自主的、自治的、自立的な取り組みが必要である。

※詳細は、当技術センター発行「技報No.45 2017」をご参照ください。 https://www.kptc.jp/gihou/no\_45/

### 古郷 彰治(こごう しょうじ) 応用技術課 デザイン担当 主任研究員

【一言】いいデザインの半分は、いいコンセプトで出来ている。事業や商品のコンセプトをしっかり作り込めば、最適な色や形の方向性が見えてきますよ。



【横顔】自家用車は30年モノ、単車は40年モノ、自転車は50年モノ。 気に入ったモノは直しながら長く愛用しています。

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 応用技術課 デザイン担当 TEL:075-315-8634 FAX:075-315-9497 E-mail:design@kptc.jp